

第31回 廃棄物資源循環学会研究発表会
リサイクルシステム・技術研究部会 企画セッション講演

廃棄物処理・リサイクル事業における 新型コロナウイルスの影響

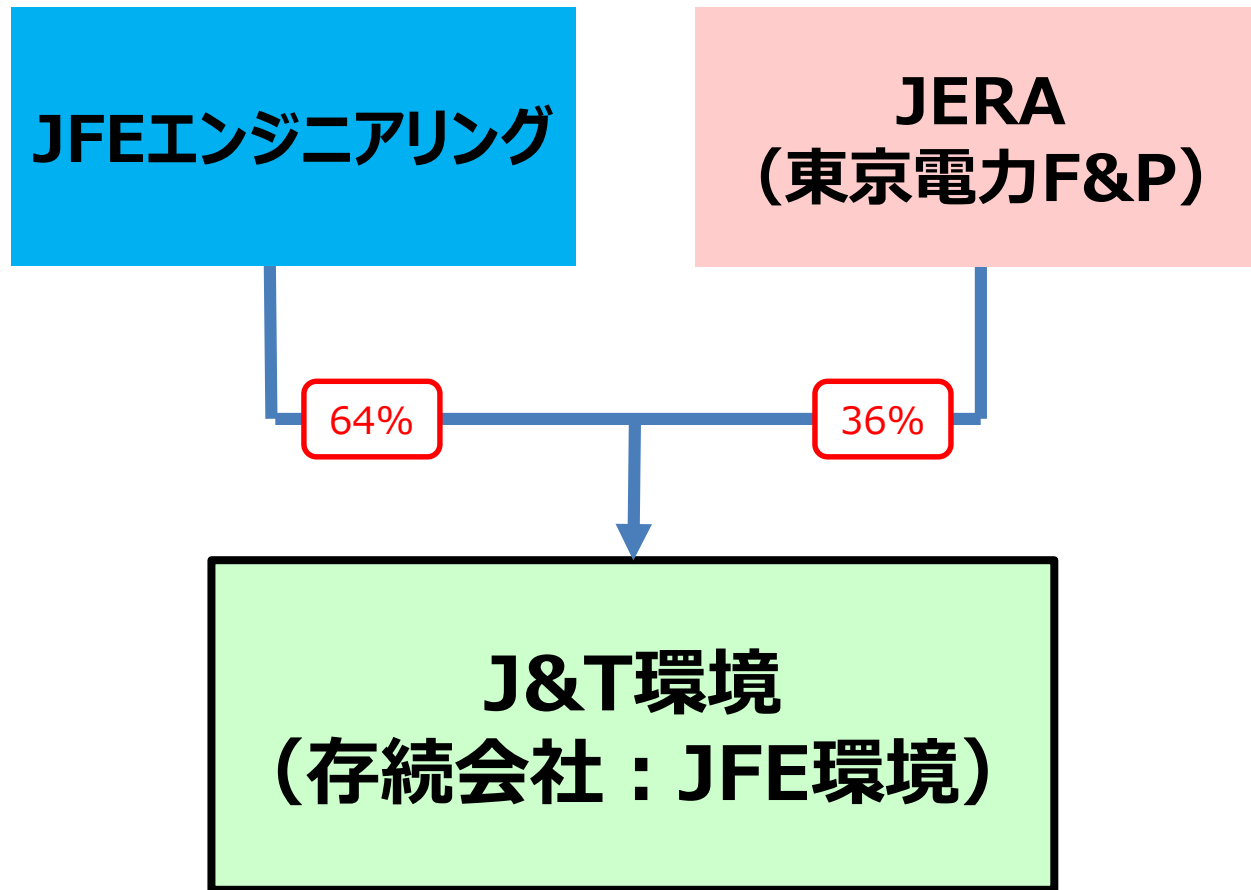
2020年9月18日

J & T 環境株式会社

影山嘉宏

2019/4 東京電力F&P子会社のTRPを統合し、J&T環境がスタート

1. 資本構成



2. 概要

項目	J&T環境(株)
代表取締役	露口哲男
売上高 (2019年度)	408 億円
従業員数	1,017 名
焼却能力	1,475 t/日
発電能力	26,389 kW

「静脈ビジネスでのトップランナー」を目指す

首都圏の処理体制



主要拠点

首都圏をはじめ、札幌、仙台、福山にも拠点を配備。万全の体制でお客様の期待に応えます。

福山地区

事業：パレット製造、RPF製造、産廃プラスチックリサイクル、産業廃棄物処理など



札幌地区

札幌バイオフードリサイクル

食品リサイクル(メタン発酵)
処理量：68t/日
発電出力：250kW

仙台地区

事業：パレット製造、プラスチックペール化、機密文書処理、RPF※製造など
※RPF…プラスチック固形燃料



東京地区

事業：廃棄物発電
東京臨海エコクリーン
廃棄物発電(ガス化溶融炉)
処理量：650t/日
発電出力：23,000kW



川崎地区

事業：廃棄物発電、家電・ペットボトルリサイクルなど

川崎エコクリーン

廃棄物発電(ストーカ炉)
処理量：220t/日
発電出力：1,500kW



千葉地区

事業：廃棄物処理、食品リサイクル
千葉リサイクルセンター
廃棄物処理&燃料ガス製造(ガス化溶融炉)
処理量：300t/日



横浜地区

事業：廃棄物発電、食品リサイクル、蛍光灯・乾電池・バッテリーリサイクルなど

横浜エコクリーン

廃棄物発電(ストーカ炉)
処理量：220t/日
発電出力：1,889kW



Jバイオフードリサイクル

食品リサイクル(メタン発酵)
処理量：80t/日
発電出力：1,800kW



経営方針

J & T 環境株式会社は、

1. **安全第一**を旨に、**コンプライアンスを遵守**した透明性の高い企業活動を展開し、**お客さまおよび地域の皆さまとの信頼関係の構築**を事業運営の前提といたします。
2. 最新の技術を駆使した**リサイクル事業に真摯に取り組み**、廃棄物処理・リサイクル**業界の社会的な位置づけを高めて行く**一翼を担ってまいります。
3. 世界的課題となっている**廃プラスチックの処理**や、食品廃棄物のリサイクル率向上などを通じ、エネルギーや資源の利活用の拡大に取り組み、**循環型社会の実現に貢献**してまいります。
4. 経済成長に伴い廃棄物処理の問題が顕在化している**東南アジアなど海外**においても国内での知見を活かした事業の展開を図ることにより、**国内外で業界トップランナー**を目指します。

J & T 環境のリサイクル事業 (1)

J&T環境が廃棄物のリサイクル・適正処分をワン・ストップで対応



ソリューション提供、輸送

エネルギー回収

可燃物
焼却・発電



食品
メタン発酵・発電
(札幌、仙台、横浜で実施中)

マテリアルリサイクル

蛍光灯

家電

ペットボトル

プラスチック

パレット製造

その他

- ・廃酸、廃アルカリ
- ・乾電池、バッテリー など

協力先



JFEスチール

非鉄精錬

セメント製造

最終処分場

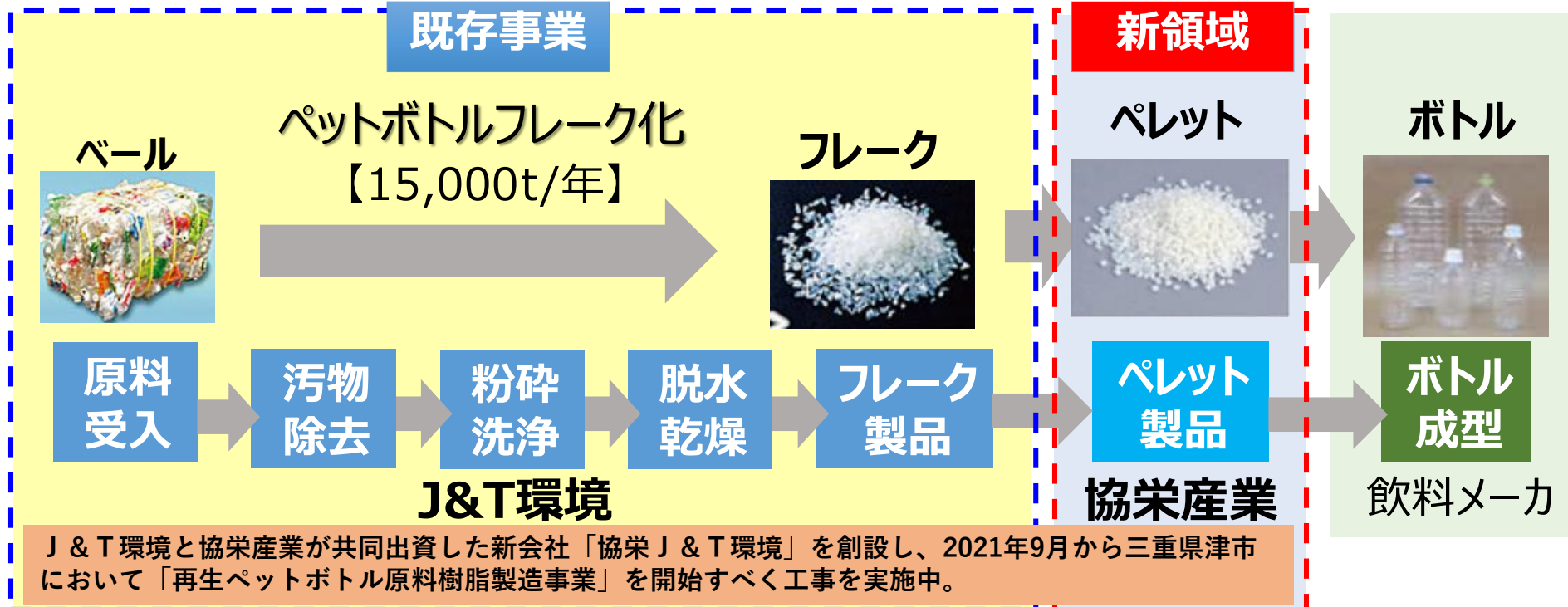
その他

自社施設によるリサイクル範囲

J & T 環境のリサイクル事業 (2)

【J&T環境の主なプラスチックリサイクル事業】

事業	処理量 (t/年)	内容
R P F 製造事業	35,000	仙台(製紙)・川崎、福山(製鋼、石灰)
ボール化事業(仙台・横浜)		容器包装の選別・圧縮・梱包
パレット事業(仙台・福山)	18,000	容リ°ラ・廃フコンからパレットを製造(60万枚/年)
ペットボトル事業(川崎)	15,000	廃ペットボトルからフレーク製品の製造



使用済みプラスチック再資源化事業へ参画

(株式会社アールプラスジャパンへの資本参加)

当社は、プラスチックのバリューチェーンを構成する下記の12社で、持続可能な社会の実現に向けて、プラスチック課題解決に貢献すべく、使用済みプラスチックの再資源化事業に取り組む共同出資会社、株式会社アールプラスジャパンを設立し、6月から事業を開始しました。

(共同出資12社)

サントリーMONOZUKURIEキスパート(株)、東洋紡(株)、レンゴー(株)、東洋製罐グループホールディングス(株)、アサヒグループホールディングス(株)、岩谷産業(株)、大日本印刷(株)、凸版印刷(株)、(株)フジシール、北海製罐(株)、(株)吉野工業所、J & T環境株式会社

会社概要

会社名	株式会社 アールプラスジャパン
事業開始	2020年6月5日～
本社所在地	東京都港区台場2-3-3
代表取締役	横井恒彦
事業内容	使用済みプラスチックの再資源化技術の開発・実用化推進

コロナ禍における J & T 環境の取組み

4月7日緊急事態宣言発令に当たり、4月8日当社HPにて以下を表明（抜粋）

私共 J & T 環境は、最先端の技術を駆使した廃棄物処理やリサイクル事業を通して持続可能で快適な社会づくりを目指して事業を展開してきておりますが、この未曾有の危機にあつてこそ、一般・産業廃棄物はもとより特殊な医療系廃棄物処理に至るまで、私共が社会の皆様のお役に立つべきであるとの決意のもとで、可能な限り事業を継続してゆく所存です。

1. 弊社の事業運営

状況に著しい変化が生じない限り、従業員の感染予防に細心の注意を払い、対策を講じながら各拠点、工場とも通常操業を維持し事業を継続致します。

2. 重点継続事業

- ①医療系廃棄物処理事業（川崎エコクリーン、東京臨海エコクリーン）
- ②産業廃棄物焼却事業（横浜エコクリーン、川崎エコクリーン、東京臨海エコクリーン、千葉リサイクルセンター）
- ③食品リサイクル事業（千葉バイオガスセンター、Jバイオフードリサイクル、札幌バイオフードリサイクル）
- ④自治体からのプラスチック処理委託事業（横浜ベール化工場、仙台プラベール化工場）

コロナ禍における廃棄物処理施設（焼却工場）のBCP対応状況 （緊急事態宣言時の東京臨海エコクリーンの例）

	通勤	業務	食事・休憩	トイレ、使用エレベーター、喫煙所	感染者が出た時
運転当直	マイカー優先、オフピーク通勤またはタクシー	中央操作室内にビニールシートで隔離、通常と同じ4班態勢	専用場所を確保（着替え室も専用場所確保）	専用の施設を確保	4班のうち、該当班は自宅待機、残りの班で対応
運転助勢日勤、保守、受入		通常勤務場所の中央操作室から出て、PRホールで業務、各G、出勤と在宅の2班態勢	食堂利用（各席の前面と両脇に透明な飛沫防止柵を設置）	日勤者共用	感染該当班とは別の班で業務実施
マニフェスト受付	オフピーク通勤またはタクシー	受付フロント班と別室でのバックオフィス業務班の2班に分ける。		日勤者共用	感染該当班とは別の班でフロント業務実施
管理間接部門（総労経）	マイカー優先、オフピーク通勤またはタクシー	原則在宅勤務（最少人数のみ出社）		日勤者共用	感染者以外で業務実施

業務中マスク着用、会議は原則TV会議

対策状況（飛沫防止シート設置等）

マニフェスト受付カウンター



一般来客者受付



マニフェストに触れた都度消毒



【設置前】

中央操作室において
オペレーターごと
飛沫防止シートで隔離



【設置後】

設置シート



コロナ汚染廃棄物と作業の状況

コロナ汚染廃棄物の荷姿



作業姿



作業終了時に作業靴底面消毒



ドライバー用アルコール消毒液ポンプ設置



新型コロナウイルス汚染廃棄物の取扱いについて病院、収集運搬会社へのお願い文書

令和2年2月

お客様 各位

J & T環境株式会社
代表取締役 露口 哲男

新型コロナウイルス汚染廃棄物の取扱いについてのお願い

拝啓 貴社益々ご隆昌のこととお喜び申し上げます。

さて、今般の新型コロナウイルス感染症拡大に伴う該当廃棄物の処理につきまして

当社は万全の体制をもって受入並びに処理を行う所存でございます。

つきましては、安全かつ迅速な受入及び処理を行う為に、当面の間下記取扱い内容についてご理解の上、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

1. 排出事業者様へお願いする事

- 1) 新型コロナウイルス汚染廃棄物は通常汚染廃棄物と区別をお願い致します。

医療容器の上面及び側面の計2箇所「×」印を記入願います（裏面ご参照下さい）。

- 2) プラスチック容器の蓋はしっかりと閉めて外れない様にガムテープ等で養生して下さい。
- 3) 段ボール箱詰めの場合はビニール内袋を2重にしてしっかりと口を縛って下さい。
- 4) 段ボール箱が型崩れ及び内容物が飛散しないように蓋をガムテープ等で養生して下さい。
- 5) 出来るだけプラ容器のご使用をお願い致します。

注：当面の間、新型コロナウイルス汚染廃棄物の優先処理を実施致します。

2. 収集運搬会社様へお願いする事

- 1) 搬入予定を搬入前日の午前中までにFAX（専用搬入予定表）と電話連絡をお願い致します。
（土曜・日曜・祝日を含む場合はその前日の当社営業日までをお願い致します）

ご連絡内容：①搬入予定日 ②荷姿毎の数量（段ボール箱、プラ容器） ③車両番号 ④搬入時刻

- 2) 新型コロナウイルス汚染廃棄物の積載時には、都度事前に荷台内の消毒をお願い致します。
- 3) 新型コロナウイルス汚染廃棄物と通常汚染廃棄物を区別して積載願います。
- 4) 乗務員の方は、マスクと手袋の着用をお願い致します。

以上

当面の間、ご不便をおかけ致します事をお詫び申し上げます。

また、ご質問等ございましたら以下連絡先へ、お問い合わせ下さいませようお願い致します。

連絡先：J & T環境株式会社

東京臨海エコクリーン（内藤・大久保） TEL：03-6327-3209 FAX：03-5500-1088

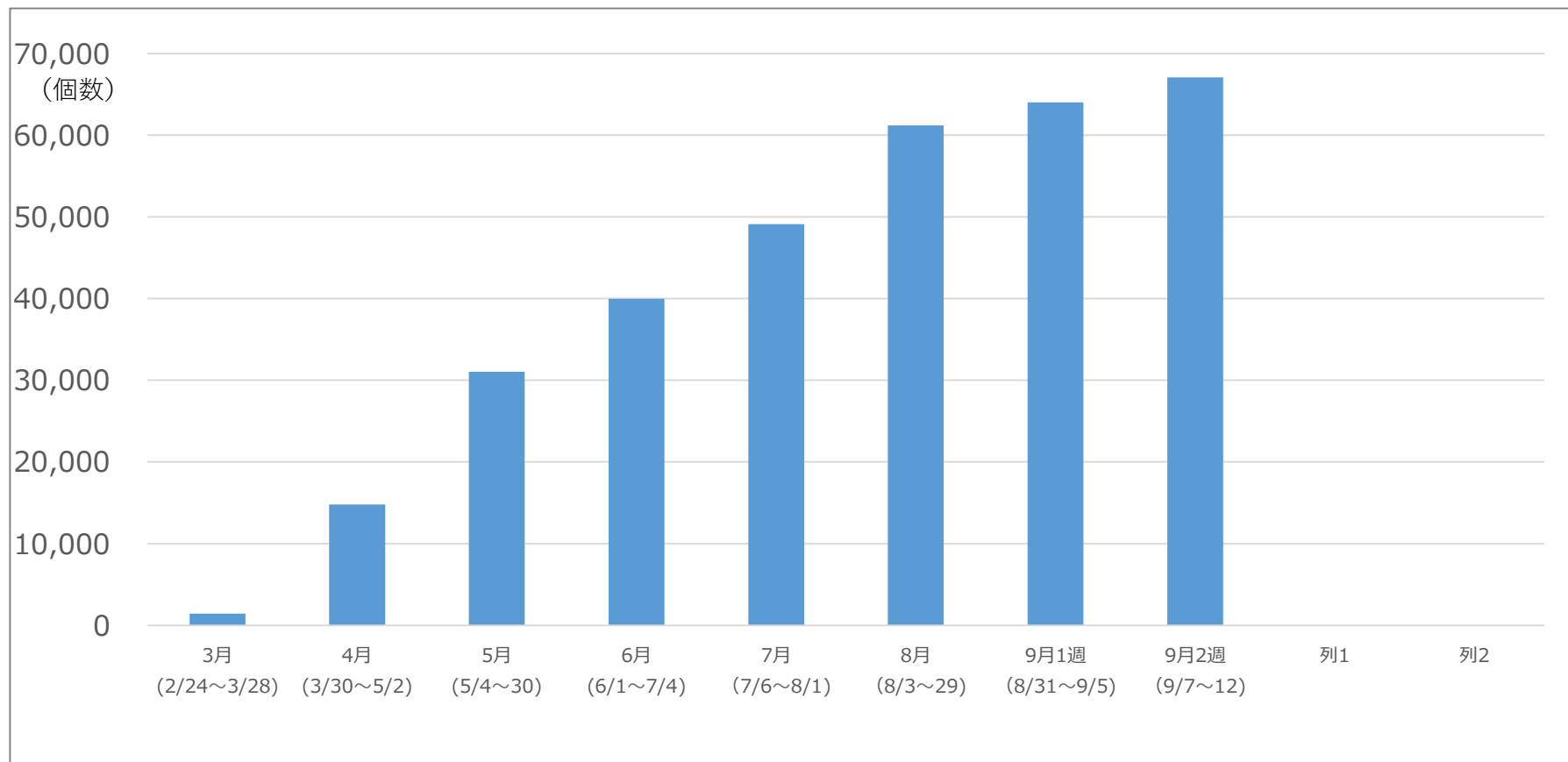
川崎エコクリーン（山野・川崎） TEL：044-330-9477 FAX：044-511-1501



・段ボール箱詰めの場合は
ビニール内袋を2重にし
しっかりと口を縛り、
型崩れしない様、
ガムテープ等で
養生してください。

J & T 環境株式会社 東京臨海エコクリーン工場

コロナ関連廃棄物の入荷推移（累計箱数）



コロナ禍における廃棄物の受入れ状況

	4月～5月	6月～7月
産廃	オフィスなど事業系は、4月は若干マイナス程度であったが、5月は10%程度落ち込んでいる。イベント系ごみは、大きく落ち込んでいる。建廃等は大きな変化なし。	事業系は、4月～5月に比べて、増えてきてはいるが、通常に比べて10%弱落ち込んでいる。
医廃	コロナ廃棄物は受け入れているが、病院来訪者の減少と手術の減少で4月から減り始め、5月は、通常より、13%程度落ち込んでいる。	引き続きコロナの影響で通常より10%程度落ち込んでいる。
食品ごみ	エキナカごみは、大幅な減少、その他も含め、40%程度の減少。	回復基調にあるが、通常より、15～30%程度減っている。
家電	テレビのみ増加。 エアコン、冷蔵庫、洗濯機は10%～30%のマイナス。	テレビはさらに増加。その他品目も通常より増加に転じる。
容リプラ	4月から増え始め5月始めにかけて増加。（5月始めでは、通常より20%増）5月終わりにかけて減少傾向。（5月終わりでは、通常より10%増）	通常より8%増程度で推移。

緊急事態宣言：4月7日～5月25日